

B-MOSアップデート内容（2026/09/17公開）

2026年9月17日 公開のネットアップデートの追加機能や変更箇所等については、以下の内容となります。

平面図

◆床面積計測に「共用部領域の入力」コマンドを追加

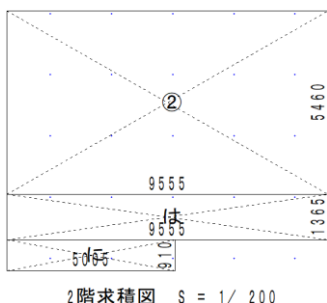
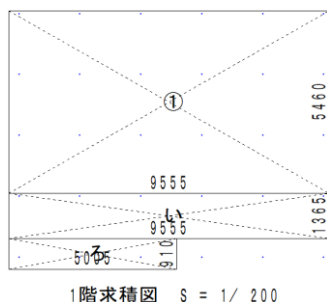
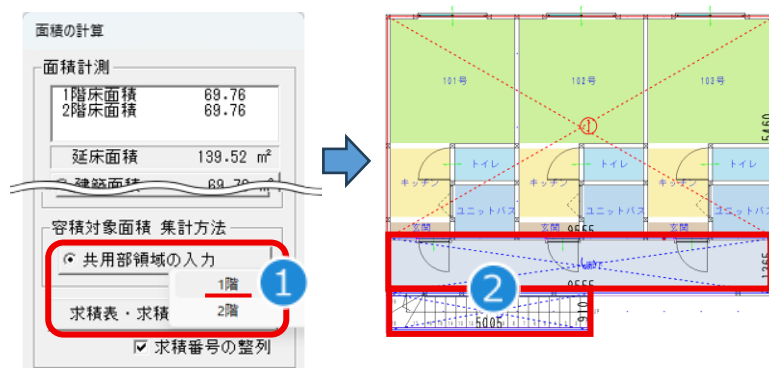
床面積の計測に、「共用部領域の入力」コマンドを追加しました。

共同住宅などの容積率を算定する場合、延べ面積から共用部（廊下や階段など）の不算入面積を除いた面積を「容積対象面積」として扱います。

「共用部領域の入力」コマンドでは、各階の「共用部の領域」を設定することで、その領域を不算入面積として各階の床面積から除外し、除外後の各階の床面積の合計を「容積対象面積」として算定します。

操作方法

- 1 計測／床面積の [共用部領域の入力／1 階] を選択します。（1 階の場合）
- 2 共用部（廊下や階段など）の領域を入力します。



項目	記号	L x (m)	×	L y (m)	=	面積 (m ²)
1階床面積	①	9.5550	×	5.4600	=	52.170300
	い	9.5550	×	1.3650	=	13.042575
	ろ	5.0050	×	0.9100	=	4.554550
	小計					69.767425
2階床面積	②	9.5550	×	5.4600	=	52.170300
	は	9.5550	×	1.3650	=	13.042575
	に	5.0050	×	0.9100	=	4.554550
	小計					69.767425
延べ床面積						69.76+69.76 = 139.52 (42.20坪)
						①+い+ろ = 69.76 (21.10坪)
共用面積、容対面積を表記						
施工面積						①+②+い+ろ+は+に = 139.534850
1階共用面積						い+ろ = 17.5971
2階共用面積						は+に = 17.5971
共用面積						17.59+17.59 = 35.18 (10.64坪)
1階容対面積						1階床面積-1階共用面積 = 52.17 (15.78坪)
2階容対面積						2階床面積-2階共用面積 = 52.17 (15.78坪)
容対面積						52.17+52.17 = 104.34 (31.56坪)



共用部領域の反映について

ここで算定した「容対面積（容積対象面積）」は、仕様書や法規チェックの容積率の算定に反映します。
※「共用部領域」を入力していない場合は、求積表、面積表に共用面積、容対面積を表示しません。

壁量計算

◆ 壁量計算に「層間変形角の検討」機能を追加

[壁量の検討]に[層間変形角の検討]機能を追加しました。

層間変形角は「階高」、「必要壁量」および「存在壁量」を基に算定し、設定した目標値を満たしているかを判定します。

「層間変形角の検討」の確認

[柱・壁伏図]の右サイドメニューにある[層間変形角]ボタンをクリックすると、**層間変形角の算定結果**が確認できます。



層間変形角の目標値を基に判定

方向	階	階高 ①	必要壁量 (地震力) ②	存在壁量 ③	変形量 ④ = ①×1/120×②/③	変形角 ⑤ = ④/①	判定 (1/150以下)
X	2	290.0	1378.00	2617.16	1.27	1/227.91	適
	1	288.0	2683.98	5089.63	1.27	1/227.56	適
Y	2	290.0	1378.00	2539.81	1.31	1/221.17	適
	1	288.0	2683.98	4482.66	1.44	1/200.42	適

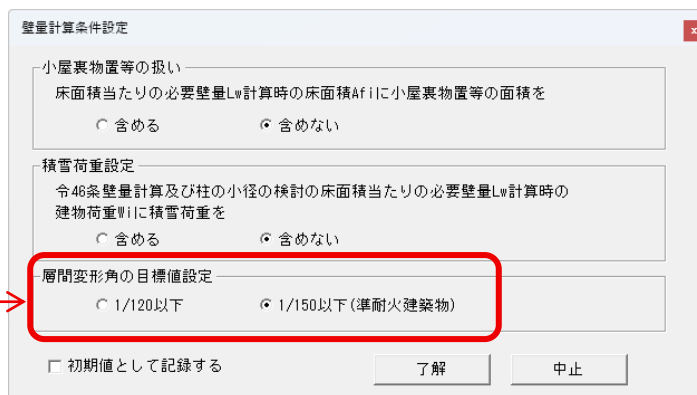
[層間変形角の検討]の算定結果は、「出力」メニューから作成される「壁量計算書」/「壁量等確認図 2」ページに作成されます。

※層間変形角の算定結果が不要な場合は、出力後に「ユニ CAD/図表編集/図表削除」コマンドを選択し、算定結果を削除してください。

層間変形角の目標値の設定

層間変形角の目標値については、「設定/壁量計算条件設定」の[層間変形角の目標値設定]で設定できます。

1/120 以下 or 1/150 以下を選択



壁量計算条件設定

小屋裏物置等の扱い
床面積当たりの必要壁量Lw計算時の床面積Afllに小屋裏物置等の面積を
☐ 含める ☒ 含めない

積雪荷重設定
令46条壁量計算及び柱の小径の検討の床面積当たりの必要壁量Lw計算時の建物荷重Wllに積雪荷重を
☐ 含める ☒ 含めない

層間変形角の目標値設定
☐ 1/120以下 ☒ 1/150以下(準耐火建築物)

☐ 初期値として記録する

了解 中止

◆「横架材のめり込みの検討」表に柱ほその幅・高さの補足説明を追記

鉛直荷重の検定／柱軸力による横架材のめり込みの検定 の表の下段に、柱ほその幅および高さを示す補足説明を追記しました。

戻る		横架材のめり込みの検討		めり込み補強部の検討											
検定一覧		土台		2階											
3階															
柱番号	座標		横架材の樹種	めり込み面積		長期				短期(積雪時)					
	X	Y		柱	添え間柱	軸力	応力度	許容 応力度	検定比	軸力	応力度	許容 応力度	検定比	加力 方向	種別
1	3.5	14	樟 目視等級 甲種 三級	117.00	-	1.81	0.15	3.90	0.04	3.48	0.30	5.20	0.06	X→	地震時
				117.00	-	0.63	0.05	3.90	0.02	1.21	0.10	5.20	0.02	X→	地震時
				117.00	-	6.91	0.59	3.90	0.16	10.19	0.87	5.20	0.17	X←	地震時
22	7	10	樟 目視等級 甲種 三級	117.00	-	5.18	0.44	3.90	0.12	7.60	0.65	5.20	0.13	X→	地震時

※柱のほぞ幅は30mm、ほぞ高は90mmとして計算する。

ほぞの幅および高さの補足説明を追記

柱ほその幅および高さの補足説明を追記

※柱のほそ幅は30mm、ほそ高は90mmとして計算する。

鉛直荷重の検定／柱軸力による横架材のめり込みの検定

！ 柱ほその幅・高さの補足説明について

設定／計算用数値の設定／めり込みの検定方法の設定で、[柱のほそが横架材に接着するので柱面積でめり込み計算をする。] にチェックを入れている場合、柱ほその幅および高さは表示されません。

◆「小屋束の接合金物の登録」を追加

「設定／接合金物の設定」に、[小屋束接合金物の登録] を追加しました。

小屋束接合金物の登録					
番号	品名	記号	接合方法	短期許容	呼称(商品名)
1	かすがい2本打ち			2160	かすがい2本打ち
2	長はぞ差し込み杭打	N	くさき CN80×194	3910	長はぞ差し込み杭
3	1字型かど金物	T	くさき CN85×10本	5970	1字型かど金物
4	山形プレート金物	V	くさき CN80×8本	5880	山形プレート
5	羽子板* 肘又は短冊金物	I		7500	羽子板* 肘又は短冊金物
6	羽子板* スクリュー釘	P s		8500	羽子板* スクリュー釘
7					
8					
9					
10					

小屋束接合金物の登録

[小屋束接合金物の登録]で登録した小屋束接合金物は、「鉛直荷重の検定／けらばの負の風圧に対する母屋断面.母屋-小屋束.接合部の検定」で参照します。

検定比: $s\sigma b/sfb=1.950/14.80=0.13 \leq 1.0$ [OK]	
② 負の風圧に対するけらば部分の母屋-小屋束接合部の引張耐力の検定	
引張力 $T = \{q \times (Cpe1 + Cpe2) - WR \times \cos(24.2)\} \times 0.910 \times 0.500 \times (1 + 0.500 / (2 \times 1.820))$	
$+ (q \times Cpe1 - WR \times \cos(24.2)) \times 0.910 \times (1.820 / 2)$	
$= \{1.15 \times (1.000 + 0.8) - 0.52 \times 0.912\} \times 0.910 \times 0.500 \times (1 + 0.500 / (2 \times 1.820))$	
$+ (1.15 \times 1.000 - 0.52 \times 0.912) \times 0.910 \times (1.820 / 2)$	
かすがい2本打ち にて接合 短期許容耐力2.16 kN	[小屋束接合金物の登録] を参照
検定比: $1.386/2.16=0.64 \leq 1.0$ [OK]	

負の風圧に対するけらば部分の母屋-小屋束接合部の引張耐力検定

◆躯体荷重分布図の荷重領域編集内容の保持に対応

計算再処理／データ変更により再作成処理の [既存データの中より残すデータ] に [躯体荷重分布図の編集] を追加しました。

チェックをつけることで、再計算処理を実行しても、編集した荷重領域が保持されます。



[躯体荷重分布図の編集] の ON/OFF の違いは？

- ON** : 躯体荷重分布図で追加・削除した荷重領域をそのまま保持されます。
- OFF** : 躯体荷重分布図をすべて再作成しますが、追加した荷重領域についてはそのまま保持されます。
(従来と同じ動作)

ハウストラ・構造チェッカー・壁量計算

◆[既存データの中より残すデータ] の選択状態の保持に対応

「計算再処理／データ変更により再作成処理」で選択する[既存データの中より残すデータ] チェックボックスの ON/OFF 状態を保持するようにしました。

次回、「データ変更により再作成処理」を実行する際に引き継がれます。

U値η値計算

◆計算に必要のない「外気に接しない部屋」の床面積を非表示

面積／床面積 で、計算に使用しない「外気に接しない部屋」の床面積を表示しないようにしました。

(外気に接しない部屋は、計算内容や計算結果に影響はありません。)

	部屋名	部屋高[m]	面積[m ²]	面積計[m ²]
1階	ホール	2.40	11.59	79.49
	キッチン	2.40	8.28	
	物入	2.40	3.31	
	家事室	2.40	4.97	
	ダイニング	2.40	16.56	
	物入	2.40	4.97	
	トイレ	2.40	1.66	
	リビング	2.40	16.56	
	洗面・脱衣	2.40	3.31	
	玄関(土間床)	2.56	3.31	
2階	ユニットバス(土間床)	2.20	3.31	82.81
	シャワー+トイレ(土間床)	2.56	1.66	
	子供室(外気)	2.40	3.31	
	子供室	2.40	1.66	
	物入	2.40	1.66	
	物入	2.40	1.66	
	主寝室	2.40	16.56	
	物入	2.40	0.83	
	ホール	2.40	7.45	
	吹抜	2.40	2.48	
計	納戸	2.40	4.97	162.30
	トイレ	2.40	1.66	
	子供室	2.40	9.94	
吹抜	吹抜	2.40	16.56	
	吹抜	2.40	3.31	

	部屋名	部屋高[m]	面積[m ²]	面積計[m ²]
1階	ホール	2.40	11.5934	79.50
	キッチン	2.40	8.2810	
	物入	2.40	3.3124	
	家事室	2.40	4.9686	
	ダイニング	2.40	16.5620	
	物入	2.40	4.9686	
	トイレ	2.40	1.6562	
	リビング	2.40	16.5620	
	洗面・脱衣	2.40	3.3124	
	玄関(土間床)	2.56	3.3124	
2階	ユニットバス(土間床)	2.20	3.3124	3.31
	シャワー+トイレ(土間床)	2.56	1.6562	
	子供室(外気)	2.40	3.3124	
計				82.81

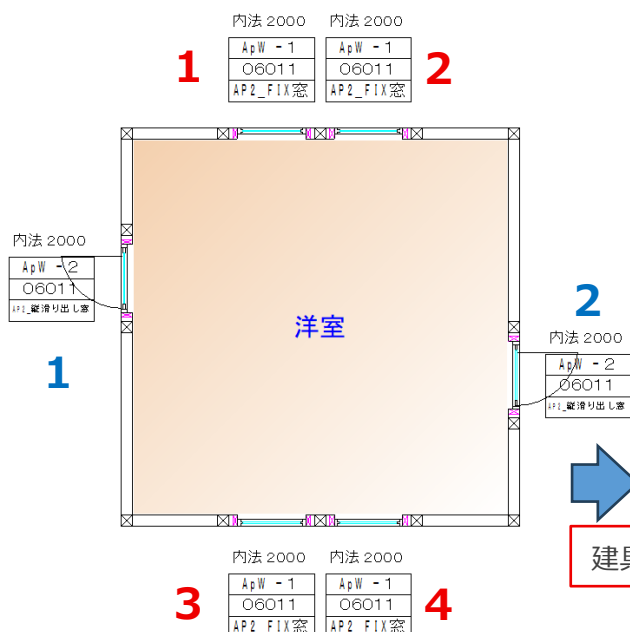
外気に接しない部屋を
非表示

フォーマー

◆建具表の連動枠に「個数」を追加

建具表の連動枠に「個数」を追加しました。自動読み込み時に、建具の個数が出力されます。

※自動読み込み時のみ対応しています。任意読み込み時には個数は出力されません。



建具表		
符号	ApW - O6O11 - 1	ApW - O6O11 - 2
形状		
寸法	600×1100	600×1100
名称	複層サッシ FIX	複層サッシ 縦滑出窓
見込み仕様	アルミ・樹脂	アルミ・樹脂
建具金物その他	なし	パネーターその他付
個数	4	2

建具個数を自動で集計

「ユーザー登録／建具表」を使用される場合は、「個数」連動枠を任意で設定する必要があります。

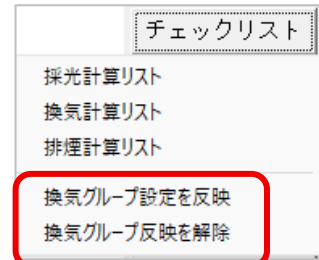
「データ編集／内容編集」を選択し、個数欄をクリック後、建具表／個数（連動データ）に変更してください。

※「マスター登録／建具表」については、ネットアップデート実行後に、「個数」連動枠が追加されます。

◆シックハウス対策の換気グループ設定を [チェックリスト] へ反映する機能を追加

[シックハウス対策] で設定した換気グループを、[採光・排煙・換気] の [チェックリスト] へ反映できるようにしました。

共同住宅などについて、住戸ごとの算定結果を整理した順序で出力することが可能になります。



●[換気グループ設定を反映]

→換気グループの設定内容を各計算の [チェックリスト] へ反映します。

●[換気グループ反映を解除]

→[チェックリスト] へ反映した換気グループの設定を解除します。

例：チェックリスト／採光計算リスト

採光のチェックリスト			
部屋名	床面積	補正係数	
1階 102号室	8.35㎡	A=	
合算 玄関	0.57㎡	A=	
合計床面積		8.92㎡	
1階 103号室	8.35㎡	A=	
合算 玄関	0.57㎡	A=	
合計床面積		8.92㎡	
1階 101号室	8.35㎡	A=	
合算 玄関	0.57㎡	A=	
合計床面積		8.92㎡	
1階 105号室	8.35㎡	A=	



採光のチェックリスト			
居室番号	部屋名	床面積	
1	1階 101号室	8.35㎡	
	合算 玄関	0.57㎡	
	合計床面積	8.92㎡	
2	1階 102号室	8.35㎡	
	合算 玄関	0.57㎡	
	合計床面積	8.92㎡	
3	1階 103号室	8.35㎡	
	合算 玄関	0.57㎡	
	合計床面積	8.92㎡	
	1階 105号室	8.35㎡	

※[換気計算リスト] および [排煙計算リスト] にも反映します。

換気グループ番号を反映することで、住戸順に整理して出力できます。

◆集合住宅用ユニットバス、トキワのクロス「パインブル S」壁仕様、天井仕様の追加

集合住宅用ユニットバス / 6 点



トキワ 壁仕様 / 6 種
トキワ 天井仕様 / 6 種

